木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業
概要説明（富山県富山市）

１．事業概要

事業名	富山市木質バイオマスエネルギー利用導入計画策定事業
検討対象設備等	・公立中学校へ導入する木質ペレットボイラー(400kW)。 ・公共施設や温浴施設、一般住宅や事業所等へ導入する、大小様々な規模の木質バイオマスボイラーや木質バイオマスストーブ。 ・中山間地域へ導入する木質チップや竹材を利用した小規模バイオマス発電施設。
平成３０年度 補助金交付予定額	９,７４６,０００円
事業内容	本市の森林賦存量や森林整備状況等を調査し、木質バイオマスの供給可能量を把握するとともに、市立中学校をはじめとする公共施設の他、一般家庭、事業所等での木質ペレットボイラー及び木質ペレットストーブの導入可能量を調査したうえで、持続可能な活用が図れる設備導入に最適な施設を抽出し、導入計画を策定する。計画策定後、3年以内に、市立中学校への木質バイオマスボイラー導入を行い、モデルケースとして水平展開を図ることで、順次市内での設備導入を推進する。

２．設備導入予定等

設備導入時期	導入時期：2021年度末 導入スケジュール：2019年（導入計画策定）、2020年（着工）、2021年（完工）
CO2削減効果	1,770t-CO2／年
生物多様性保全効果	間伐により林床に光が入り下層植物の種構成が変わる事で、市内に生存する希少野生動植物の生息ポテンシャルを増加するとともに、計画的な間伐により森林が有する水源涵養機能や土砂災害防止機能等が確保される。山林が適切に整備されることで南部の山林から北部の海まで市域全体の森里川海の連関の維持確保に繋がる。